

北陸新幹線福井・敦賀開業首都圏プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位 (R5)									
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業により、始発駅となる東京駅等を中心に、PR活動やリアルイベントなど連続的なプロモーションを行い、新幹線開業の話題とともに本県への誘客拡大を図る。															
[事業内容] (1) 首都圏外向宣伝事業 ・新幹線沿線のJR主要駅(東京駅、大宮駅、長野駅、高崎駅)や福井ゆかりの地(神楽坂)で外向宣伝等のプロモーション活動を実施。また、外向宣伝と連動した駅たびコンシェルジュ店舗内連携を実施する。 ・首都圏のJR主要駅にポスターを掲出(年4回、約110駅・170枚を各1週間掲出) (2) 福井トリップナビゲーター育成事業 ・駅たびコンシェルジュにて、お客さまに観光地や旅行をご案内するスタッフ向けに、福井県の優れた観光地や伝統等のオンライン勉強会、現地研修を行うことにより、福井県への送客等 誘客拡大を図る。 ・駅たびコンシェルジュスタッフが監修するガイドブックの制作、福井県旅行相談会の実施															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所 (R3経済センサスー活動調査)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション事業 (実績) ・6月 上野駅外向宣伝 ・7月 長野駅外向宣伝 ・9月 高崎駅外向宣伝 ・9~10月 東京駅外向宣伝 ・1月 大宮駅外向宣伝 等					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況									

北陸新幹線福井・敦賀開業首都圏プロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営									R4 年度			経過年数
補助率	—									3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	71,607				71,607								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			103,962	119,157	71,607	・デジタルサイネージ広告、ポスター等の事業終了 ・上野駅出向宣伝の終了							
2月現計予算額の推移			103,962	119,157									
決算額の推移			97,455										
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706 12,356	15,191	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)					
活動指標	北陸新幹線沿線エリアでの出向宣伝回数	(目標) 実績	(2) 0	(2) 0	(4) 4	(5) 5	(4)	新幹線開業課 出向宣伝回数					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<事業実績> 6月 上野駅出向宣伝、7月 長野駅出向宣伝、9月 高崎駅出向宣伝 9~10月 東京駅出向宣伝、1月 大宮駅出向宣伝 <外的要因> 出向宣伝を北陸新幹線沿線で実施し、活動指標を達成				・北陸新幹線開業後となる令和6年度、始発駅となる東京駅等の電光掲示板に「福井」行きが掲出。集中的なプロモーションを行いたい。 ・日本最大規模の大宮 鉄道博物館で、北陸新幹線開業など鉄道の話題をフックとしたプロモーションを行いたい。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	47,550		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

北陸新幹線福井・敦賀開業効果拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位 (R5)									
[事業目的] 首都圏における北陸新幹線福井・敦賀開業の認知度を高め、ふくいファンを拡大・確保するため、福井の魅力・イメージを発信することにより、継続的な誘客促進を行う。															
[事業内容] (1) 羽田空港との連携プロモーション事業 ・福井ならではの恐竜や越前がになどの「良いもの」、「本物」を展示し、認知度を向上 (2) ユーチューブを活用した福井の観光動画配信事業 ・福井県の観光コンテンツを題材とした、知的好奇心や体験意欲を高める動画(約8本)を制作し、WEBユーザーに動画を配信 (3) 北陸新幹線を活用した旅行商品造成・PR事業 ・福井県において、食や伝統文化について学ぶ「趣味の会講座」を実施。講座において学んだことを実際に体験する「趣味の会旅行」実施により、開業後の継続的な来訪を促進 ・実施にあたっては、富裕層の利用の多い、JR東日本が会員向けに発行する「大人の休日倶楽部」を活用。年配層を対象に福井県の情報を発信 (4) シニア女性に向けた北陸新幹線福井・敦賀開業PR促進事業 ・富裕層のシニア女性全体をターゲットに、生活情報誌「ハルメク」とコラボし、シニア女性のニーズ調査の実施 ・ハルメクの首都圏会員と福井県会員との交流イベントを実施し、福井県民による首都圏からの観光誘客を促進 (5) SNSを活用した福井ファン拡大事業 ・インスタフォトグラムコンテスト ・インスタグラマーを活用した情報発信 ・女性向け旅サイトを活用した情報発信															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所 (R3経済センサスー活動調査)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業に向けた魅力発信・認知度向上事業 (実績) ・羽田空港との連携プロモーションの実施 ・ユーチューブを活用した福井県の観光動画の配信 ・福井県情報のインターネット記事掲載・配信 等					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

北陸新幹線福井・敦賀開業効果拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	50,387				50,387							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		103,654	105,728	59,418	67,252	50,387	・福井県情報のインターネット記事掲載・配信事業の終了 ・まっふる白山の発行の終了					
2月現計予算額の推移		93,181	64,131	59,418	67,252							
決算額の推移		92,226	66,361	53,449								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706 12,356	15,191		(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)			
活動指標	SNS等での情報発信回数	(目標) 実績	(25) 27	(22) 30	(15) 21	(15) 21			ユーチューブ動画やインターネット記事などのSNSでの情報発信回数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> 羽田空港との連携プロモーションの実施(11月~12月) 福井県をPRする動画制作・配信(動画再生数約120万回) 福井県情報のインターネット記事掲載・配信 (恐竜博物館特集記事9/27~10/24閲覧数22,201回)				・福井県情報のインターネット記事掲載・配信事業の終了 ・まっふる白山の発行の終了 ・開業後の新たなターゲットとしてシニア女性に向けたPR事業を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	16,865	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸デスティネーションキャンペーン誘客拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託、直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]					
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位 (R5)					
[事業目的] 令和6年秋に開催される「北陸デスティネーションキャンペーン (DC)」、において、JRグループ6社と北陸三県 (富山県、石川県、福井県) の観光事業者、行政が一体となって、北陸への誘客拡大を図る。											
[事業内容] (1) 北陸DC推進 (実行委員会負担金) R6. 10~12に開催される北陸DCにおいて、石川・富山と共同でPRを実施 (2) 北陸DC石川県オープニングセレモニーにおけるPR ・北陸DCの開始にあたり、石川県で行われるオープニングにおいて福井県のPRを実施 (3) 北陸DC福井県オープニングセレモニー ・北陸DCの開始にあたり、福井駅でオープニングセレモニーを開催し、県内外にキャンペーン開始をPR (4) 北陸アフターDCに向けた観光素材発信事業 ・全国宣伝販売促進会議用に制作した福井県観光素材集について、素材の見直し、リバイスを実施し、アフターDC後も継続的な誘客の促進											
[受益者] 観光事業者 (宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所 (R3経済センサスー活動調査)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

北陸デスティネーションキャンペーン誘客拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	委託、直営										経過年数			2 年
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	33,672				33,672									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					32,259	33,672	・北陸DC実行委員会負担金の増額							
2月現計予算額の推移					32,259									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)					
活動指標	DC関連イベント実施回数 (目標) 実績				(850) 762	(2)			R5:全国宣伝販売促進会議参加者数 R6:DC関連イベント開催回数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<事業実績> 北陸デスティネーションキャンペーンプレキャンペーンを実施(10月~12月) 11月に福井県で全国宣伝販売促進会議を開催(参加者数762名) コロナ禍で、支店等の統廃合による旅行会社の規模縮小されたことにより想定よりも参加者数が少なくなった。				更なる誘客拡大のため、令和6年度は本キャンペーンにおいて、石川県や富山県でのDC関連イベントを実施するほか、HP等でのPRを強化する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

北陸新幹線福井・敦賀開業メディアプロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]								
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 39位 (R5)									
[事業目的] 首都圏メディアに対し、本県の誇る「本物」情報をメディアが利用しやすい形に加工したうえで提供することにより、本県の認知度を高め、関係を強化するとともに、本県情報の露出拡大を図る。															
[事業内容] (1) 首都圏メディアへのPR・招致活動事業 ・福井の地域資源に関する情報のメディア訪問による提供、メディアによる本県取材の働きかけ、メディアのニーズ調査などを実施 ・メディアにおける露出拡大のため、首都圏のメディア関係者の福井への招致拡大															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所 (R3経済センサスー活動調査)									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

北陸新幹線福井・敦賀開業メディアプロモーション事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	35,817					35,817						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		37,840	37,840	39,700	39,700	35,817	・首都圏におけるミステリアスニュースの掲出終了のため減額					
2月現計予算額の推移		33,006	34,745	39,700	39,700							
決算額の推移		33,006	34,745	35,615								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)			
活動指標	取材招致件数	(目標) 実績	(24) 26	(24) 33	(24) 35	(24) 42			首都圏メディアの県内取材誘致件数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> 令和5年度メディア露出件数(見込み) テレビ：24件、新聞雑誌：24件、WEB：721件				首都圏メディアにおいて本県の北陸新幹線開業、観光、物産、文化、食材等の情報が報道で取り上げられやすくするためのパブリシティ活動の強化等を実施した。令和6年度は首都圏におけるミステリアスニュースの掲出を終了し、より首都圏メディアの招致等を強化していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,883	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「鉄道観光」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン~]								
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位 (R5)									
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、ライトな層も含め全国に150~200万人存在するとされる鉄道ファンを対象に特別企画を実施し、同層の本県への誘客拡大と市場の取り込みを図る。															
[事業内容] (1) 鉄道旅行誌「旅と鉄道」とのタイアップ事業 ・福井県での鉄道旅を紹介する5万部、96ページの増刊号を発刊 ・抜き刷り小冊子(16P、1万5千部)を作成															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所 (R3経済センサスー活動調査)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

「鉄道観光」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,309				6,309							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				7,205	6,309	・恐竜駅弁タイアップ事業の終了のため減額						
2月現計予算額の推移				7,205								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)				
活動指標	「旅と鉄道」増刊号 発行部数	(目標) 実績			(50,000) 50,000	(50,000)		R5: 福井県版時刻表を5万部発行				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> 新ご当地駅弁の開発(3万食部に福井の観光リーフレットを同梱) 福井県版時刻表を5万部制作				・恐竜駅弁タイアップ事業の終了 ・更なる鉄道ファン獲得のため、幅広い層に人気のある鉄道旅行誌「旅と鉄道」とのタイアップ事業を実施。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	896	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

人気アニメタイアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）									
[事業目的]															
人気のアニメとタイアップしたPRを展開し、本県の知名度および開業の認知度向上を図り、新幹線県内開業効果を最高潮に高める。															
[事業内容]															
<p>人気アニメとタイアップして県内外に対する新幹線開業のPR、誘客・県内周遊を図る。</p> <p>(1) スタンプラリー実施 開業時にスマホをかざすとアニメのキャラクター等が浮かび上がるパネルを県内の観光施設に設置。 同時にスタンプとしてGETできるスタンプラリーとなる仕掛けを施すことで県内の広域周遊を促進。</p> <p>(2) CM放映 アニメ放送内において本県とタイアップしたCMを放映</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名								
市町との連携状況						他県の状況									

人気アニメタイアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											経過年数		
補助率	—											2 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	33,017					33,017								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					46,318	33,017	・ カウントダウンイベント実施事業の終了による減額							
2月現計予算額の推移					46,318									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込者数（千人） （※暦年）	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)					
活動指標	コラボ件数	(目標) 実績				(2) 2	(2)	(2)	—					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<事業実績> 令和6年1月27、28日に県産業会館にて新幹線開業50日前記念イベントを開催。延べ約16,000人が来場。 タイアップ記念動画作成、観光PR動画作成					令和6年度も人気アニメとタイアップしてスタンプラリー等のイベントを実施するとともに、4月から開始するアニメ放映に合わせて、令和5年度に制作した観光PR動画を活用したCMを放映し、北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果拡大を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	13,301		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

新幹線開業を記念したグルメイベント開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体		県			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法		委託													
補助率		—													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる (創造力) 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]]			関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）									
[事業目的]															
新幹線輸送を活用して希少性の高いグルメイベントを開催し、新幹線開業効果を県内外に周知するとともにまちなかのにぎわい創出を図る。															
[事業内容]															
(1) 出前エキュート&グランスタ東京 i n 福井の開催 (2) 三菱地所・エコツヅェリア協会と連携し、本県の食を提供するレストランフェアと物産展の開催															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名								
市町との連携状況						他県の状況									

新幹線開業を記念したグルメイベント開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	委託								事業 区分	事業 区分			事業 区分	R5 年度
補助率	—													事業 区分
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度 予算額の増減理由								
当初予算額の推移				28,468										
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移				28,468										
決 算 額 の 推 移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光客入込者数（千人） （※暦年）	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191	(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)						
活動指標	グルメイベント実施回数	(目標) 実績				(2) 3								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
令和5年度で事業終了 ＜事業実績＞ (1) 出前エキュート&グランスタ東京 in 福井 10/19～24、3/27～31 2回開催 (2) 食、観光PRイベントを丸の内ハウスにて開催 レセプション：1/16 レストランフェア：1/17～2/4				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	28,468			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

新幹線開業記念将棋タイトル戦誘致事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	〔 3 楽しみを広げる(創造力) 〕			関連する県の計画等		〔 F I R S T 2 9 1 ~北陸新幹線開業プラン~ 〕					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業後の盛り上げるための盛り上げを継続させ、開業効果を一時的なもの としないようにする。						[問題・課題を表す客観的データ] 開業後期待される入込数：本県で78.5万人増加 (日本政策投資銀行における経済波及効果 (R2.2) より)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業を記念し、将棋タイトル戦の対局を本県へ誘致し、対局に合わせ福井の観光資源を活用したPRを実施することにより県内への誘客を促進 し、新幹線開業による全国からの本県への関心を持続させる。												
[事業内容] (1) 将棋タイトル戦の誘致 ・将棋タイトル戦対局の県内開催を誘致 (2) 朝倉象棋を活用した誘客プロモーションやイベント等の実施 ・対局誘致後、対局に合わせ県内の観光PR広告を掲載 ・プロ棋士との多面指し、朝倉象棋(しょうぎ)体験教室等を開催												
[受益者] 県内観光客、県民						[想定される受益者数] 県内観光客 15,191千人 (R4年観光客入込数)、県民 752,976人 (R4県内人口)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

新幹線開業記念将棋タイトル戦誘致事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											R6 年度		
補助率	—											経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	39,530				39,530									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						39,530								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年) (目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)					
活動指標	将棋タイトル戦機運醸成 イベント参加人数 (人) (目標) 実績					(1,100)	(1,100)	(1,100)	北陸新幹線開業PRキャラバン参加人数の中央値					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

人気ゲームとコラボした福井の魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託								□ 補助金				事業 開始 年度	R6 年度 経過年数	1 年
補助率	—								□ その他						
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン~]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）									
[事業目的] 全世界で人気のゲームとコラボし、県内の周遊を促すイベントの開催やSNSを活用した本県の観光情報発信を行うことで、北陸新幹線福井・敦賀開業後の県内への誘客促進を図る。															
[事業内容] 人気ゲームとコラボしたイベントの開催や情報発信 ①県内周遊イベントの実施 ・ 県内の新幹線駅や観光スポットなどを巡るフォトラリーの実施 ・ ゲームとコラボしたオリジナルグッズの制作、イベント参加者への配布 ・ ゲーム内に登場するキャラクター等のモニュメントの制作・設置 ②ゲームとコラボした本県の魅力の発信 ・ ゲームのキャラクターを使用して本県の魅力をゲーム公式SNS等で発信															
[受益者] 県内観光客、県民						[想定される受益者数] 県内観光客 15,191千人（R4年観光客入込数）、県民 752,976人（R4県内人口）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

人気ゲームとコラボした福井の魅力発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											R6 年度		
補助率	—											経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	25,256				25,256									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					25,256									
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	観光客入込者数（千人） （※暦年）	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)					
活動指標	イベント来場者数（人）	(目標) 実績					(10,000)							
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和6年度の変更点					事業評価						
—			—					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

新幹線開業キャラバン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法		直営、委託													
補助率		—													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン~]								
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）									
[事業目的] 県民総参加のもと来県者を心のこもったおもてなしでお迎えするため、企業・団体等におもてなしの取組を宣言・実践いただき、おもてなし機運の醸成を図る。また、県内イベントに出展し開業をPRする広報キャラバンを結成するとともに、新幹線開業ウェルカムダンスを制作・各地で披露し、県内の盛り上げを図っていく。															
[事業内容] (1) 開業歓迎キャラバン (2) プラレールジオラマ展示□															
[受益者] 企業・団体、県民						[想定される受益者数] 約75万人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業に向けたおもてなし機運醸成事業 事業名 大手玩具メーカーとコラボした全国発信・誘客事業 (実績) おもてなし宣言291参加件数 1,187企業・団体(34,030人) 開業ウェルカムダンス出前講座 122件(4,775人参加) 開業PRキャラバン 20日間 福井県の風景を再現したオリジナル大型ジオラマ製作 等					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	新幹線設置駅周辺で4市と連携してキャラバン実施					他県の状況									

新幹線開業キャラバン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務					経過年数		
補助率	—										5 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,868				10,868								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				83,939	10,868	<ul style="list-style-type: none"> ・開業PRキャラバン等の経費削減 ・福井県の風景を再現したオリジナル大型ジオラマ製作の終了による減額 							
2月現計予算額の推移				83,939									
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込者数（千人） （※暦年）	（目標） 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人（観光新戦略H26～R1） 令和6年目標値 20,000千人（観光ビジョンR2～R6）				
活動指標	開業歓迎キャラバン、プラレールジオラマ展示実施日数（日）	（目標） 実績	(10) 14	(20) 25	(40) 87	(100) 351	(8)	(8)	(8)	R6～：県内で実施するプラレールジオラマ展示実施日数 R5：県内で実施した開業PRキャラバンの実施日数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<事業実績> ・おもてなし宣言291 登録企業・団体数 1,270（3月末現在） ・新九頭竜橋をモチーフにしたプラレール「W7系北陸新幹線かがやき鉄道道路併用橋セット」の開発・販売 ・タカラトミーとコラボし、福井県の風景を模したオリジナルジオラマ（2種）、オリジナルイラストおよびコラボステッカー、県内の伝統工芸とコラボした唯一無二のプラレール製作 等				令和6年度は北陸新幹線福井・敦賀開業後に玄関口となる新幹線駅4駅にて歓迎おもてなしキャラバンを行い本県への期待感の醸成につなげる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	73,071		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井の旬の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位 (R5)									
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、JRや旅行会社等と連携し、全国での北陸新幹線福井・敦賀開業の認知度向上と観光客の誘客促進・観光消費の拡大につなげる。															
[事業内容] 旅行予約サイトを活用したプロモーション事業 ・サイト内の行政情報ページにバナーを掲載し、本県の観光やグルメ、体験アクティビティ等の魅力を紹介するページへ誘導 ・サイト会員の中から、属性(性別、年齢)や居住地、過去1年間の予約実績(宿泊施設のランク)等によりターゲットを絞り込み、メルマガを配信 ・サイトが持つメディア(冊子やニュース配信等)に広告を掲載し、PR ※上記プロモーションの実施に際しては、サイト側が、未提携施設に対する勧誘、提携施設に対する魅力的な宿泊プランや体験アクティビティプラン造成の働きかけを実施															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所 (R3経済センサスー活動調査)									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

福井の旬の魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	委託									R5 年度			経過年数
補助率	—									2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	11,000				11,000								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				17,753	11,000	・福井県紹介ページ掲載先の一部変更による減							
2月現計予算額の推移				17,753									
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県内延べ宿泊者数(万人) ※宿泊旅行統計調査	(目標) 実績	256	233	233	271	(510)	—	—	令和6年目標値 510万人(ふくい観光ビジョン)			
活動指標	旅行予約サイトへの掲載回数	(目標) 実績				(2) 4	(3)			旅行予約サイトでの福井県紹介記事掲載回数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<事業実績> 大手旅行予約サイトじゃらんnetと楽天トラベル内に本県の観光やグルメ、体験アクティビティ等の魅力を紹介するページを制作、旅行予約サイトの行政情報ページにバナーを掲載し、本県を紹介するページへ誘導				令和6年度は旅行予約サイトの本県紹介ページの掲載先を一部変更(事業費見直し)し、引き続き本県への誘客促進と観光消費の拡大につなげていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	6,753		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

人気テレビコンテンツを活用した福井の魅力全国発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
100年に一度の新幹線開業を迎えるにあたり、県内および首都圏などに向け、開業機運を盛り上げ、認知度および魅力向上を図ること。						「令和4年 福井県観光客入込数」によると、県外来県者6,246千人(実人数)のうち、県内宿泊者数は4,377千人(実人数)									
[事業目的] 令和6年1月～2月に、全国で話題のグルメドラマ「居酒屋新幹線」で本県を舞台にした「福井編」「敦賀編」を2週にわたって開業直前に放送した。その放送後の影響を活用し、北陸デスティネーションキャンペーンまで、全国1位の評価を受けた食の魅力を全国に発信することにより、開業後の誘客を図る。															
[事業内容] ドラマ「居酒屋新幹線」とのコラボPRキャラバン ・令和6年1月～2月に放送したドラマ「居酒屋新幹線」の「福井編」「敦賀編」で取り上げられたグルメをPRするコラボPRキャラバンを首都圏エリア(東京駅、大宮駅、長野駅、高崎駅等)で実施 ・PRキャラバン内容：①ドラマのキービジュアルを活用したパネル設置 ②ドラマ内で紹介されたグルメの販売 ③ドラマ内で紹介された店舗、商品、観光スポットを紹介するフライヤーの配布															
[受益者] 本県への来訪者						[想定される受益者数] 15,191千人 (R4年観光客入込数)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線福井・敦賀開業首都圏プロモーション事業 (役割分担) 県外で実施する出向宣伝に合わせて居酒屋新幹線PRキャラバンを実施することにより、相乗効果で本県への関心度を高めるほか、会場費等を削減							
市町との連携状況						他県の状況									

人気テレビコンテンツを活用した福井の魅力全国発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託									R5 年度 経過年数		
補助率	—									2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,500	1,250			1,250	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				7,744	2,500	PRグッズ・HP制作費にかかる経費削減						
2月現計予算額の推移				7,744								
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数（千人） （※暦年） 実績 11,706	12,356	15,191		(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人（観光新戦略H26～R1） 令和6年目標値 20,000千人（観光ビジョンR2～R6）				
活動指標	視聴者数（延べ：千人） 実績			(1,800)	(1,800)	(1,800)	(1,800)	・放送回数 2回 ・TBS・MBS視聴者数 約90万人／回×2回				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> TBS 912千人 MBS 362千人 <外的要因> 見逃し配信による視聴者増によるリアルタイム視聴者が減少したため、視聴者数が目標未達成				・R5に作成したパネル等をPRキャラバン用のツールとして使用するため、ライセンス使用にかかる経費等のみを要求				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5,244	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

関西圏での観光・物産PR拠点設置・運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度			
事業実施方法	直営、負担金														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] 大阪・関西万博(R7)やワールドマスターズゲームズ(R9)など世界的イベントを契機に、大阪を訪れるインバウンドや、関西在住の観光客をターゲットにした観光・物産のPRを行う。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県の訪日外国人宿泊者数の状況 R4:12,460人、R3:9,370人、R2:23,080人、R1:97,730人									
[事業目的] 令和5年3月に開業した新駅「大阪駅・うめきたエリア」と直結する「KITTE大阪」(R6.7月開業予定)に、大阪・関西万博(R7)やワールドマスターズゲームズ(R9)など世界的イベントを契機に大阪を訪れるインバウンドや関西在住の観光客をメインターゲットにした観光・物産PR拠点を、北陸3県が共同で設置し、拠点を通じて北陸の魅力を発信する。															
[事業内容] ○場 所 : KITTE大阪(大阪市北区梅田3丁目、旧大阪中央郵便局および周辺ビル跡地)の2階「地域活性化拠点」 ○運営開始時期: 令和6年7月 ○拠点機能について (1) 情報発信 ・観光コンシェルジュ配置(出番4~5人体制、物販スタッフ兼務) ・スタンディングバー(旬の食材や地酒を提供) ・パンフ配架、デジタルサイネージ設置、店頭イベント開催 など (2) 各県の特産品販売 ○運営方法について (1) 賃貸借契約: 北陸3県で賃貸借契約を締結(R6.2月) (2) 店舗運営: 北陸三県から成る運営協議会がプロポーザル公募(R5年11月)による選定事業者運営委託 ○使用料および賃借料 11,000千円 (債務負担行為 67,000千円(令和6年度:11,000千円、令和7~10年度:14,000千円)) ○協議会負担金について (1) 店舗運営委託費ほか(経常経費) 23,000千円 (2) オープニングプロモーションほか(臨時的経費) 19,000千円															
[受益者] 本県への来訪者						[想定される受益者数] 15,191千人(R4年観光客入込数)									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	(石川県、富山県との調整状況) R5. 11月 運営事業者決定 R6. 2月 官庁検査 5月 工事完了 6月 店舗運営準備 7月 開業								

関西圏での観光・物産PR拠点設置・運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度		
事業実施方法	直営、負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	53,000						53,000									
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					47,000	53,000	(事業進捗に伴う金額内訳の変更に伴う増) R5 47,000千円 (テナント工事費) R6 53,000千円 (使用料および賃借料 11,000千円、負担金 42,000千円)									
2月現計予算額の推移					47,000											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	外国人延べ宿泊者数 (人泊) (目標) 実績	23,080	9,370	12,460			(150,000)	(200,000)	富山県外国人延べ宿泊者数 (令和元年) : 203,190人泊 ※観光庁「宿泊状況調査」							
活動指標	来場者数 (人) (目標) 実績						(330,000)	(500,000)					(500,000)	年間約500,000人 (1,380人/日) ※7月に施設がオープンすることを想定 ※プロポーザル審査により採用された運営事業者作成		
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
<事業実績> ・情報発信拠点の工事および運営事業者の選定 ・K I T T E大阪の令和6年7月開業に向けて調整中					・能登震災による罹災した什器の修繕および再制作に伴い、令和6年度も引き続き5月中旬を目途にテナント工事を実施 ・7月開業に向けた運営準備や開業プロモーションに向けた運営事業者および関係者との調整				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	市町、民間団体またはグループ				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助								事業 経過 年数	5 年		
補助率	市町1/2、民間団体またはグループ2/3								法定受託事務			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に向け、県内の開業機運の盛り上がりや、観光コンテンツの造成、プレイヤーの育成等により、観光誘客の最大化を図るため、市町・民間の取組みを継続して支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）						
[事業目的] 全国から募集した新幹線開業効果を高める優れたプロジェクトのアイデアやプランの実行を支援することにより、県内外での新幹線開業に向けた機運醸成を図る。												
[事業内容] (1) 優れたアイデアの実行支援 優れたアイデアの実行に取り組む市町を支援する。 ・実施主体 市町 ・補助上限額 5,000千円/年・市町 ・補助率 1/2 (2) 優れたプランの実行支援 優れたプランの実行に取り組む民間団体やグループ（以下、「事業者」）を支援する。 ・実施主体 福井県内の事業者 ・補助上限額 5,000千円/年・事業者 ・補助率 2/3												
[受益者] 県内観光客、各団体が実施するイベントの参加者						[想定される受益者数] 15,191千人（R4年観光客入込数）						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績) <“ワクワク”アイデア部門> 286件 <“ドキドキ”プラン部門> 34件				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		【石川県】R4当初予算 ・民間主体の先導的な取組に対する支援 59,000千円				

北陸新幹線開業アイデアコンテスト実行支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	市町、民間団体またはグループ				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	市町1/2、民間団体またはグループ2/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	50,599					50,599						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		80,000	61,107	57,780	60,338	50,599	・民間団体補助件数の減 (R5 14件 → R6 13件) ・ご当地コレクションカードによる誘客・周遊促進事業完了による減					
2月現計予算額の推移		31,185	36,396	50,750	49,665							
決算額の推移		27,275	35,269	48,387								
前年度までの 主な増減理由		・アイデアコンテストに係る補助を要する市町・民間団体の数および事業費の減により減										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)				(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)			
活動指標	補助件数	(目標)	(23)	(23)	(23)	(22)	(23)	(23)	市町・事業者事業取組み団体数			
		実績	11,706	12,356	15,191							
		実績	17	20	22	17						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> 市町 3市町、民間団体 14団体 <事業による要因> 民間実施団体はR4と比較し、R5は2団体が自走を開始したため補助件数が14団体になった。 <外的要因> 民間団体の自走開始や補助対象期間終了による補助対象市町が減少したため目標未達成				・令和6年度が補助制度の最終年度であるため、採択団体のうち、まだ自走していない13団体については自走に向けて調整していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	9,739	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体		県、(公社)福井県観光連盟			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	一、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~北陸新幹線開業プラン~]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業後の誘客効果を最大化させる必要がある。						福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人(令和6年目標：20,000千人)						
[事業目的]												
新幹線駅設置市が行うディステーションキャンペーン開催期間のイベント、開業1周年イベントへの支援等により開業効果の最大化を図る。												
[事業内容]												
<p>○開業イベント実施の支援</p> <p>補助対象者 新幹線駅の設置市が中心となって周辺市町などと構成する実行委員会等</p> <p>補助対象事業 補助対象者が開催するディステーションキャンペーン開催期間のイベント、開業1周年の歓迎イベント等</p> <p>ただし、開業1周年(土日の計2日を想定)の歓迎イベントは必須開催とする</p> <p>補助率等 1/2(補助上限：イベント開催10,000千円)</p> <p>○市町と旅行会社の情報交換会の実施</p> <p>○北陸新幹線開業プラン推進会議の開催</p>												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸新幹線開業イベント開催事業 (役割分担)					
市町との連携状況	・北陸新幹線開業連絡会議を開催					他県の状況						

北陸新幹線開業スタートアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	一、10/10					□ その他			□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	21,859						21,859							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		8,728	23,074	224,747	52,206	21,859	・開業イベント実施支援の経費削減 ・カウンボード、開業日ポスター制作終了のため減額							
2月現計予算額の推移		8,728	21,831	21,775	48,506									
決算額の推移		7,989	737	13,967										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込者数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)					
活動指標	4市でのイベント開催数	(目標) 実績		(4) 4	(8) 8	(8) 15	(8)	—						
活動指標	検討会議開催数	(目標) 実績	(3) 5	(3) 6	(3) 1	(3) 2	(3)	—						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<事業実績> 新幹線駅設置4市にて、イベントの実施 15回 北陸新幹線開業に向けた連絡会議の実施 2回(8/4、2/26)				令和6年度はイベント開催への支援経費を開業前年度水準 まで減額する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	30,347			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

旅ナカ満足度向上事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	委託													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]							
[解決すべき問題・課題] R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位 (R5)								
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、新幹線駅から周辺観光地を巡る旅やグルメ等を紹介するガイドブックを制作、配布することにより、県内周遊観光を促進する。														
[事業内容] ・「ことりっぷ」福井版小冊子の制作 若年女性から圧倒的な支持を集めるガイドブック「ことりっぷ」の福井版小冊子2種（嶺北、嶺南）を制作し、エリア内の周遊観光を促進する。 <ことりっぷ小冊子> ・「ことりっぷ」は、2008年の創刊以来、国内66地域で制作され、累計発行部数1,700万部をこえる旅行ガイドブックの定番。福井県版は令和2年に制作済 ・今回は、同誌の小冊子版を制作。旅ナカでの持ち歩きやすさを想定したコンパクトサイズが特徴で制作実績229件（R3.10時点）に及ぶ。 仕様：オールカラー24ページ・中綴じ 部数：嶺南・嶺北ごとに30,000部（計60,000部）制作														
[受益者] 県内観光客、県民						[想定される受益者数] 県内観光客 15,191千人（R4年観光客入込数）、県民 752,976人（R4県内人口）								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

旅ナカ満足度向上事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,230				10,230							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					10,230							
2月現計予算額の推移					10,230							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込者数(千人) (※暦年) (目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)			
活動指標	ことりっぷ小冊子制作部 数 (目標) 実績				(60,000)	(120,000)			観光客向けのガイドブックを制作			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和5年度で事業終了 <事業実績> 福井版ことりっぷ配布用小冊子(嶺北・嶺南)6万部制作				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	10,230	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、（公社）福井県観光連盟				事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道本県開通にあわせ、関西・中京圏へのプロモーション強化が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年度県外からの観光客入込数 関西地区からの入込数 2,570千人 中京地区からの入込数 1,595千人						
[事業目的] 関西・中京圏において、恐竜等の強みを活かした情報発信を行うことにより、さらなる誘客を強化する。												
[事業内容] (1) JR・旅行会社との連携による関西・中京圏誘客強化事業 (2) 岐阜県・滋賀県との連携による誘客強化事業 (3) ツーリズムEXPOジャパン出展事業 (4) 出向宣伝等の営業活動												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 4,657事業所（R3経済センサスー活動調査）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）					
市町との連携状況	・出向宣伝等への共同参加					他県の状況						

関西・中京圏からの誘客強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟				事務 区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	41,656	20,828			20,828		デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)							
[予算額の推移等] (単位:千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		23,518	56,034	56,034	52,604	41,656								
2月現計予算額の推移		14,448	14,448	49,117	52,604									
決算額の推移		14,448	14,448	49,117										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込者数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)					
活動指標	広告掲出駅数	(目標) 実績	(2) 0	(2) 0	(3) 4	(3) 3	(3)	(3)						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<事業実績> JR名古屋駅での出向宣伝 11/2~3 JR京都駅での出向宣伝 12/23~24 等				事業経費を見直し、令和6年度も引き続き関西・中京圏において本県の情報を発信し誘客を強化する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	10,948			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍において、高速道路を利用したマイカーによる旅行者が大幅に減少、旅行需要を回復させるための割引キャンペーンなどが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）						
[事業目的] 石川県・富山県やNEXCOと連携し、ドライブプラン造成などを実施し、関西・中京圏等からの誘客を強化する。												
[事業内容] (1) NEXCOと連携した誘客施策の実施 ・高速道路SAでの観光情報発信 配架物：観光パンフレットや各種キャンペーン・イベント等のチラシ 配架先：大津・西宮名塩・西紀(NEXCO西日本管内) 南条・賤ヶ岳・小矢部川・長良川(NEXCO中日本管内) ・お国じまんカードラリー NEXCO西日本と包括協定を締結する府県「ご自慢」の観光地を周遊するキャンペーン 参加府県：24府県 その他：お国じまんカードを集めると各地の特産品をプレゼント ・福井県ドライブプラン 関西、中京圏発着での県内高速道路を定額乗り放題のドライブプランを造成 ドライブプランのポスター・チラシ作成、WEB広告での周知 (2) 北陸3県連携によるマイカー誘客促進施策の実施 ・北陸3県を周遊するデジタルスタンプラリーの実施												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所(R3経済センサスー活動調査)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況	・実行委員会参加により共同でイベント、出向宣伝等を実施 ・お国じまんカードラリーのスポット選定、運営					他県の状況						

高速道路網を活用した観光誘客事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	7,315	3,657				3,658						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,464	5,464	5,000	5,000	7,315	・福井県ドライブプランの造成のための増額					
2月現計予算額の推移		5,464	5,464	4,808	5,000							
決算額の推移		5,420	5,461	4,808								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込者数(千人) (※暦年)	(目標)				(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)			
		実績	11,706	12,356	15,191							
活動指標	お国じまんデジタルラ リーの参加者数	(目標)	(13,000)	(13,000)	(13,000)	(13,000)	(13,000)	(13,000)				
		実績	12,773	4,791	10,361	13,096						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> お国じまんカードラリーを2023年4月28日~2024年1月31日まで実施13,096人参加した。				令和6年度は関西、中京圏発着での県内高速道路乗り放題プランの造成し、関西・中京圏から本県への誘客強化を図る。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、（公社）福井県観光連盟、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 本県への修学旅行生の数は北陸3県の中で最も少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] R4年県内主要観光地入込数						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、福井ならではの体験プログラムの造成、受入体制の充実、旅行会社等への営業強化などにより、本県への教育旅行の誘致促進を図る。												
[事業内容] (1) 教育旅行誘致の推進【観光連盟実施】 ① 営業強化 旅行会社・学校等への営業訪問 教育関係者・旅行会社の本県への視察招聘、商談会開催（関東・中京・関西圏） （北陸三県修学旅行誘致推進プロジェクト ※北陸3県、JR西日本、北陸経済連合会と連携） 首都圏で修学旅行のシェアが高い大手旅行会社および学校の福井県での研修に対して助成 最大25,000円/人 恐竜化石発掘や越前和紙の紙漉きなど体験にかかる費用の一部を学校に助成 1,000円/人・泊 修学旅行で本県に送客した旅行会社に対して、送客手数料として助成 500円/人・泊 ② 受入体制の充実 県内事業者受入体制強化研修 (2) 合宿誘致の推進 合宿誘致に向けたパンフレット作成 学生等の合宿にかかる宿泊料等の助成に対する支援 事業主体： 市町 助成額： 宿泊費 500円/人泊 特別加算 500円/人泊 地域交流費 250円/人 補助率： 宿泊費 県1/2（市町1/2） 特別加算 県10/10 地域交流費 県10/10												
[受益者] 県外から福井県への教育旅行者						[想定される受益者数] 127,732人（R4）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町と共同営業 ・学生合宿助成は市町も同額を負担 ・市町および関係事業者間で、合宿の受入状況や取組事例などの情報交換会を実施					他県の状況	富山県 「富山で合宿！」誘致事業補助金					

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県、(公社)福井県観光連盟、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 15 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	62,658				62,658							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		38,651	41,484	38,884	42,464	62,658	・体験料助成を申請数増加のため増額					
2月現計予算額の推移		8,487			41,847							
決算額の推移		6,155	12,766	16,872								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県外からの教育旅行者数 (目標) 実績	(100,000) 43,808	(100,000) 102,230	(100,000) 127,732	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)				
活動指標	合宿助成制度実施市町数 (目標) 実績	(17) 15	(17) 15	(17) 15	(17)	(17)	(17)	(17)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> 学生合宿宿泊助成の制度拡充 <事業による要因> 助成の対象が20人泊以上であり、宿泊出来る施設が限られている <外的要因> 合宿をする学生が少なくなっている				令和6年度も引き続き市町と連携し学生合宿助成の情報を発信し誘客を強化する。 修学旅行で本県に送客した旅行会社に対しての送客手数料助成の予算を増やす。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

教育旅行民泊受入体制強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助			経過年数					2 年			
補助率	10/10			事業区分								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]					[問題・課題を表す客観的データ]							
R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。					地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位 (R5)							
[事業目的]												
教育旅行において需要が増加している民泊のワンストップ窓口を設け周知することにより、受入体制の強化と新幹線沿線エリア等から本県への教育旅行のさらなる誘致を図る。												
[事業内容]												
○ (一社) 福井県旅行業協会を窓口とした嶺北における民泊誘致の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 民泊受入家庭への個別訪問(打合せ)、研修会の開催 ・ 修学旅行生受入れ時のマニュアルの更新 ・ 旅行会社に対する提案資料の更新、充実 ・ 旅行会社からの予約対応(各家庭への連絡調整)、下見時等のサポート ・ 専用ホームページの開設、更新 												
[受益者] 福井県への教育旅行者						[想定される受益者数] 127,732人 (R4)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

教育旅行民泊受入体制強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,027				5,027							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				4,808	5,027	人件費の増加により、事業費が増額						
2 月現計予算額の推移				4,808								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県外からの教育旅行者数 (目標) (100,000) 実績 43,808	(100,000) 102,230	(100,000) 127,732	(100,000)	(100,000)	(100,000)	(100,000)					
活動指標	嶺北での民泊最大受入人数 (目標) 実績			(210) 230	(260)			R5:210名、R6:260名、R7:310名				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
<事業実績> ・民泊のワンストップ窓口の設置 ・教育旅行商談会への参加 ・先進地視察研修 ・旅行会社に対する提案資料の作成 ・専用ホームページの開設				民泊の新規受入家庭・地域を増やすための専門家を呼んだ説明会や各家庭への個別訪問を行う。 また、民泊受入数拡大に向け、旅行会社への営業やホームページ、提案資料の更新に力を入れる。 加えて、旅行会社が学校に提案する前段階からワンストップ窓口が関わることにより、福井県内の体験素材の提案や日程の組み方の提案を積極的に行い、県内滞在時間を延ばし、さらにもう 1 泊していただけるように促す。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助			経過年数					2 年			
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
コロナ禍の影響により、バス旅行者が大幅に減少したため、旅行需要を回復させるために旅行商品造成促進が必要である。						R4年県内主要観光地入込数						
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業等を契機に全国各地から新たな観光ツアーを誘引し、県内での滞在時間延長や観光消費額拡大、年間を通じた誘客促進を図ることで県内観光事業者が安定的かつ継続的に稼ぐことができる環境づくりを行う。												
[事業内容]												
<p>福井県内に宿泊し、かつ一定額の消費活動を行う貸切観光バスツアーを企画する旅行会社に対する助成 補助単価：25,000円/台・泊（12～2月は30,000円/台・泊） ※貸切バス料金の制度改正（H26.8月～）に伴う値上げ相当 ※県内での宿泊日数を乗じて加算（2泊の場合 25,000円×2泊＝50,000円）</p> <p>助成条件：・貸切バスを利用して他都道府県民が福井県内を観光する10名以上の旅行商品 ・福井県内に1泊以上宿泊 ・福井県内の観光地を1泊につき2箇所以上訪問 ・福井県内の食事施設または土産物施設を1泊につき1箇所以上訪問し、かつ、1泊につき1箇所以上の施設で参加者1人あたり1,500円（税込）</p> <p>以上の消費 ※募集型・受注型どちらの商品も対象 ※行程の一部に公共交通機関（新幹線、電車、飛行機等）を利用する商品も対象</p>												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 4,657事業所（R3経済センサスー活動調査）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

持続可能な「稼ぐ観光バスツアー」支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助													
補助率	10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,400					5,400								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					4,000	5,400	旅行会社に対する助成の見込み額増加による増							
2月現計予算額の推移					4,000									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県内延べ宿泊者数(万人) ※宿泊旅行統計調査	(目標) 実績	256 233	233	271	(510)	—	—	令和6年目標値 510万人(ふくい観光ビジョン)					
活動指標	支援台数	(目標) 実績			(150) 149	(150)	(150)		3~11月 100台、12~2月 50台 ※実績値は見込み					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
<事業実績> 支援実績見込み ・バス149台 ・4,008人泊				新型コロナウイルスの影響の緩和で観光需要が回復しつつあり、旅行会社からの助成に対する申請が増加している。そのため、令和6年度は助成に対する予算を増やし要求				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

コンベンション誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	補助													
補助率	1/2、10/10													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]			関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
R5「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国39位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県の認知度全国順位 39位 (R5)								
[事業目的]														
国際会議や全国的な会議・学会等の誘致拡大に向けて、誘致活動の強化およびコンベンション主催者への支援等に取り組み、県内全域でコンベンション振興を図る。														
[事業内容]														
(1) コンベンション開催助成金 補助上限 国内：9,000千円 国外：3,000千円 ※上記補助金額に加えて、現地参加者が1,000人以上の場合「大規模コンベンション加算」最大100万円(段階式助成)を上乗せ (2) コンベンション誘致・活用推進 ・コンベンション誘致職員の配置 ・営業活動 ・広報宣伝 ・MICE誘致のためのイベント出展 等														
[受益者]						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

コンベンション誘致促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助								事業経過年数	5 年		
補助率	1/2、10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	52,441				52,441							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	50,135	29,248	36,938	35,579	52,441	・コンベンション開催助成金の申請数増による増額 ・広報動画等の制作のため増額						
2月現計予算額の推移	6,243	7,107	19,856	34,000								
決算額の推移	4,622	5,888	17,912									
前年度までの 主な増減理由	・コンベンション申請数の増減											
[成果指標等の推移]												
区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	コンベンション参加人数 (目標) 20,000 実績 484	(20,000) 1,940	(20,000) 11,847	(25,000) 28,000	(30,000)	(35,000)		コンベンション統計より(会議、大会) ※令和5年度 実績値は見込み				
活動指標	コンベンション開催件数 (目標) 30 実績 2	(30) 11	(30) 44	(70) 80	(90)	(110)		コンベンション統計より(会議、大会) ※令和5年度 実績値は見込み				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> 北陸新幹線福井・敦賀開業により福井県が注目され、全国的な会議の開催地で本県を選ぶ主催者が増えた。 (令和5年度 随時申請：14件)				・大規模コンベンション開催時の助成金を拡充し、主催者の金銭面での負担軽減を図り、本県での大規模コンベンション開催を働きかけていく。 ・本県での開催を検討している団体に対する視察助成額を拡充し、コンベンション誘致促進を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		(公社) 福井県観光連盟			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]		関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道開通を契機に、地域やターゲットに応じた誘客戦略を推進し、さらなる観光客の誘致拡大を図る必要がある。						福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）						
[事業目的]												
首都圏、関西・中京圏において、県内の観光産業関連事業者と現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を提供する。												
[事業内容]												
県内の観光産業関連事業者が、現地の旅行会社のキーマンと商談する機会を設定し、本県観光に関する説明（プレゼンテーション）および観光産業関連事業者による個別具体的な商談を実施												
【実施方法】 対面方式												
開催場所：東京、大阪、名古屋 首都圏北部5県（埼玉県、群馬県、長野県、栃木県、茨城県）												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 事業所数：4,657（R3経済センサス）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	(公社) 福井県観光連盟				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H24 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	8,955				8,955							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	3,201	3,201	3,201	3,293	8,955	首都圏北部5県（埼玉県、群馬県、長野県、栃木県、茨城県）での開催を追加。						
2月現計予算額の推移	2,221	3,173	3,201	3,293								
決算額の推移	1,527	3,173	3,201									
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数（千人） （※暦年）	(目標) 実績	11,706 12,356	15,191		(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)				
活動指標	県内観光事業者参加団体数	(目標) 実績	(150) 133	(150) 57	(150) 94	(150) 195	(250)	(250)	R6～：首都圏北部5県の追加による増（5県×20事業者）			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<事業実績> 大阪商談会 (R5) 県内観光事業者数 49団体 66人 県外旅行会社 24社 46人 名古屋商談会 (R5) 県内観光事業者数 49団体 69人 県外旅行会社 23社 33人 東京商談会 (R5) 県内観光事業者数 45団体 60人 県外旅行会社 25社 54人				令和6年度は東京、大阪、名古屋に加え、首都圏北部5県でも商談会を開催する。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額	

北陸三県連携誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体		県、北陸三県連携観光誘客協議会北陸三県誘客プロモーション部会			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助													
補助率	定額													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]							
[解決すべき問題・課題] コロナ禍前と比べ、R5年度の首都圏からの来県者減少が見込まれる北陸という地理的優位性を活かしてPRするため、北陸3県が連携し首都圏からの誘客を促進する必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）								
[事業目的] 北陸三県が連携した観光PRのため、「北陸」をテーマに各県の観光素材の共同開発、首都圏、関西圏および中京圏等への共同プロモーションなどを実施する。														
[事業内容] (1) 観光誘客促進事業(10,000千円) R5 同 ・「北陸」をテーマにした民間の観光キャンペーンを誘致 (令和5年上期：JTB 令和5年下期：北陸DCキャンペーン) ・三県共同で観光素材や観光ルートを開発 ・民間の観光キャンペーンを活用し、旅行パンフレットでのPRなど、三県共同で広報展開 (2) 共同プロモーション事業(7,000千円) R5 同 ・関西圏等において、マスメディアを招待したメディア交流会を開催し、北陸の観光素材や魅力をPR ・メディアへの共同訪問、三県の旬な取材候補地、観光素材のリストを作成し、提供														
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数：4,657 (R3経済センサス)								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

北陸三県連携誘客促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄					
事業主体	県、北陸三県連携観光誘客協議会北陸三県誘客プロモーション部会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	17,000				17,000											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				17,000	17,000	17,000										
2月現計予算額の推移				17,000	17,000											
決算額の推移				17,000												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191			(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)						
活動指標	キャンペーン招致件数	(目標) 実績			(2) 2	(2) 2	(1)	(2)	県外企業が実施する観光キャンペーンを年間2件招致し、キャンペーンを通じた認知度向上を図る。							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
<事業実績> 2件のキャンペーンを誘致 ・読売旅行キャンペーン(R5.4月～R6.3月) ・北陸DCプレキャンペーン(10月～12月) 11月に福井県で全国宣伝販売促進会議を開催(参加者数762名)				令和6年度は上期に大手旅行会社によるキャンペーンを誘致、下期には北陸DCを実施することで、北陸三県の認知度向上及び誘客促進を図る。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金			<input type="checkbox"/> 法定受託事務					事業 経過 年数	6 年		
補助率	定額			<input type="checkbox"/> 法定受託事務					<input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度		
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[3 楽しみを広げる(創造力)]		関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 日本遺産や鉄道遺産などに認定された観光資源等を本県の観光誘客に活用するため、福井県、滋賀県、京都府が広域的に連携して観光ルートの開発など実施する必要がある。					[問題・課題を表す客観的データ] 福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）							
[事業目的] 舞鶴若狭自動車道（若狭さとうみハイウェイ）、京都縦貫自動車道の全線開通による新たな高速交通ネットワークを活かし、日本遺産や鉄道遺産、海湖と森の雄大な自然資産に美味しい食などの魅力を加えた新たな広域観光誘客を、福井県、滋賀県、京都府で連携して促進する。												
[事業内容] 福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会（3府県）による観光誘客 ○日本遺産・鉄道遺産・歴史・自然遺産活用 ・新たな周遊モデルルートの開発（「日本遺産、鉄道遺産、戦国マップ」を刷新） ・観光キャンペーン等による相互PR ・鉄道遺産や海湖と森の自然資産の他、関連するガイド施設や体験メニューなどの観光素材集を活用した共同営業												
[受益者] 福井県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）						[想定される受益者数] 4,657事業所（R3経済センサスー活動調査）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担) 「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンにおいて、三府県の日本遺産等をPR					
市町との連携状況						他県の状況	滋賀県、京都府も同額を負担					

福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会負担金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H29 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	800	400			400	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		600	1,000	1,000	800	800						
2月現計予算額の推移		600	0	800	800							
決算額の推移		600	0	800								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数（千人） （※暦年）	(目標)				(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)			
		実績	11,706	12,356	15,191							
活動指標	三府県共同営業回数	(目標)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)				
		実績	4	4	4	4						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<活動実績> ・京都・若狭路・びわ湖・はりま路ぐるっとドライブパス2023 ・鉄道旅マップ 18,000部作成（3府県×6,000部）等				令和6年度は3府県（福井県・滋賀県・京都府）の共通トピックである「光る君へ 大河ドラマ館」を特集したプロモーションを行いたい。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

観光プロモーション動画制作事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[福井観光ビジョン]								
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 42位 (R4)									
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業等に向けて、県内17市町が持つ観光素材の魅力をアピールし、視聴者に「福井に行きたい!」と思わせる動画を、令和4、5年度で制作する。 ※委託先：(株)日本国際放送															
[事業内容] プロモーション動画の制作 (1) プロモーション動画の仕様 映像尺：約6分、短縮版約2分、テーマ別5種約3分 言語：4言語（日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）） 内容：本県の誇る風景、食、体験等をPRする、主に旅行会社向けのインパクトある動画制作 (2) 構成案 : ふくいのお土産ブランドを中心に福井のイメージを前面に打ち出す (3) 活用方法 ・ 令和5年秋北陸DC販促会議等、新幹線開業に向けた営業において旅行会社に対してPR ・ 県外での観光商談会や営業活動において、旅行会社に対してPR ・ 県外での誘客イベントにおいて来場者に対してPR ・ 海外でのPR活動（国際旅行博出展、海外事務所の現地旅行社訪問営業等）の際に活用															
[受益者] 観光事業者（宿泊業、飲食、サービス業）						[想定される受益者数] 4,657事業所（R3経済センサスー活動調査）									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

観光プロモーション動画制作事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				9,108	1,848		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度：「夏」「秋」「冬」スポット撮影 ・令和5年度：「春」「恐竜博物館、白山平泉寺」撮影 					
2月現計予算額の推移				9,108	1,848							
決算額の推移				9,108	1,697							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数（千人） （※暦年）	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191		(20,000)	(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26～R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2～R6)			
活動指標	撮影観光素材数	(目標) 実績			(18) 18	(9) 9			<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度：「夏」「秋」「冬」スポット撮影 ・令和5年度：「春」「恐竜博物館、白山平泉寺」撮影 			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和5年度で事業終了 <事業実績> ・令和5年4月：「春」素材の撮影 ・令和5年7月：「恐竜博物館、白山平泉寺」撮影 ※予定通り撮影終了 ・令和5年9月：YouTube「福井県新幹線開業課PRチャンネル」で配信				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,848	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線開業に向けた県民参加型ワークショップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課		課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	委託														
補助率	-														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[F I R S T 2 9 1 ~ 北陸新幹線開業プラン ~]								
[解決すべき問題・課題] R4年度「地域ブランド調査」による本県の認知度は全国42位と下位に位置している。北陸新幹線開業に向け、本県情報の露出拡大を図ることで認知度、魅力度を向上させ誘客促進に繋げる。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域ブランド調査個別報告書/ブランド総合研究所 福井県 42位 (R4)									
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県内の機運醸成や魅力の掘り起こしおよび発信のため、県民参加型のワークショップなどによるブロック恐竜や観光雑誌の制作を行い、誘客促進を図る。															
[事業内容] (1) ブロック恐竜制作・展示事業 ・本県のブランドの恐竜をブロックにより再現、制作し、JR福井駅等に展示。 ・県民にブロック提供の協力を呼びかけ、ワークショップにおいて共同でブロック恐竜の一部を制作。 (2) デザイン観光雑誌の共同制作・情報発信事業 ・県民および観光客目線による観光雑誌を制作し、企画参加者や雑誌のファンにより魅力を発信。 ・制作にあたり、県内各地域において県民参加のワークショップを5回開催し、県民おすすめの観光資源を掘り起こす。															
[受益者] 観光事業者(宿泊業、飲食、サービス業)						[想定される受益者数] 4,657事業所 (R3経済センサスー活動調査)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

北陸新幹線開業に向けた県民参加型ワークショップ事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体		県			事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法		委託										
補助率		-										
区分		事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	令和 6 年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				39,902	23,560	0	ブロック恐竜の制作完了およびデザイン観光誌の制作完了による減					
2 月現計予算額の推移				39,902	23,560							
決算額の推移				38,997								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井の認知度（全国順位）				(36) 38	(36)	(36)	(20)	R5年度「地域ブランド調査」における認知度			
活動指標	ワークショップ参加人数				(60) 1,196	(60)	(60)	(60)				30名×2日間
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和 6 年度の変更点				事業評価				
・令和5年度で事業完了 ・活動指標については当初で計上していたブロック恐竜の参加人数のみを 目標としていたが、6月補正予算でデザイン観光誌制作に関する予算を 計上し、その事業内で新たな福井の観光素材を発掘するワークショップ				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	23,560	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

北陸新幹線福井・敦賀開業記念招待事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託			経過年数					1 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
100年に一度の新幹線開業を迎えるにあたり、県内および首都圏などに向け、開業機運を盛り上げる必要。						福井県観光客入込数 令和4年度：15,191千人（令和6年目標：20,000千人）						
[事業目的] 100年に一度の新幹線開業を祝い、航空自衛隊の協力のもと、県内初となるブルーインパルスの展示飛行を開業日に誘致・実施することで、開業日の誘客やにぎわい作りを最大化するとともに、メディア報道を通じて県内外へ福井・敦賀開業を大々的にPRする。また、開業日の新幹線2両分の借上げ、県内、首都圏発の招待旅行の実施												
[事業内容] (ブルーインパルス展示飛行について) ・実施日時 開業当日(令和6年3月16日) ・飛行場所 敦賀駅→越前たけふ駅→福井駅(演目)→芦原温泉駅→加賀温泉駅→小松駅 県内開業駅において、福井駅では演目飛行を実施。他3駅では、上空通過のみ(スモークあり) ・飛行演目 「サクラ」、「ハート」の型など数種目を実施 ※航空自衛隊が天候状況に応じ決定 演目飛行では、隊員によるリアルタイム実況を実施 ・情報発信 県内TVCM、WEB記事、SNS、県内広報誌 など ・渋滞対策 事前にテレビCM放送やホームページにより、来場者へ交通手段について周知徹底を行う 15秒TVCM ×30回×2局(福井テレビ、FBCテレビ) 20秒ラジオCM×30回(FM福井) (スケジュール) 令和6年春(開業日)：展示飛行実施 (開業日の新幹線への招待旅行について) ・実施日時 開業当日(令和6年3月16日) ・開業日の新幹線2両分の借上げ、県内発と首都圏発の招待旅行の実施												
[受益者] 本県への来訪者□						[想定される受益者数] 15,191千人(R4年観光客入込数)□						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況	・開業日当日、福井市が福井市中央公園やハピテラスにて開業イベントを開催 ・福井市が開催する開業イベントと連動、福井駅周辺の回遊性を強化し、渋滞緩和につなげる。					他県の状況			石川県の加賀温泉駅、小松駅上空においても展示飛行を実施			

北陸新幹線福井・敦賀開業記念招待事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					4,105									
2月現計予算額の推移					31,576									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	観光客入込者数(千人) (※暦年)	(目標) 実績	11,706	12,356	15,191	(20,000)		(20,000)	令和元年目標値 13,000千人(観光新戦略H26~R1) 令和6年目標値 20,000千人(観光ビジョンR2~R6)					
活動指標	イベント参加者数	(目標) 実績			(10,000) 30,000			(10,000)	令和4年9月西九州新幹線開業時のブルーインパルス展示飛行実績 ※実績値は見込み					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
令和5年度で事業終了 ＜事業実績＞ ・開業日の新幹線への招待旅行 敦賀駅発、東京駅発各181名を招待 ・開業日にブルーインパルス展示飛行の実施 イベント参加者数 30,000人(実績値は見込み)					—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	31,576		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

県民主役のプロモーションCM制作事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄			
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	委託													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政 策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
100年に一度の新幹線開業を迎えるにあたり、県内および首都圏などに向け、開業機運を盛り上げる必要。						開業の認知度 (R3.7イベントブース出展時のアンケートより) ①知っていた (65%)、②開業は知っていたが、時期は知らなかった (20%) ③知らなかった (15%)								
[事業目的]														
開業前に実施する北陸新幹線の試走時に県民が主役となって福井をプロモーションするCM撮影イベント「福井情熱駅長」を開催し、県内の機運を最大限に高めるとともにプロモーションムービーとして全国発信を行う。														
[事業内容]														
<p>○県民が駅長(福井情熱駅長)となって福井をプロモーション</p> <p>(1) 駅長(団体)の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達がPRしたい福井を駅長名「〇〇駅長」とし、「PRしたい思い」を募集(約1000名) (駅長名の例) ソースカツ丼最高! 駅長、福井梅だいすき駅長、越前そばいっぺん食べてみね駅長 など ・駅長には、駅長帽、任命状を配布 (募集方法) 各種団体に依頼するとともに、WEBなどで一般募集(学校、職場、サークルなど一定規模の団体を募集) ・駅長のみなさんには、SNS発信などで福井のPRを行ってもらうとともに、出発式や開業日の団体臨時列車など 節目イベント等に参加してもらい、特別な体験をSNSでレポートしてもらう <p>(2) 駅長任命式、試走イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR西日本の協力のもと、駅長の任命、試走車両をお出迎えするイベントを開業4駅や沿線等で実施 ・駅長は全員が帽子を被り、PRしたいもの(巨大めがね、越前がに、大漁旗など)を持って出演 (募集方法) 駅長の中から、動画に写っても良い人を招待 <p>(3) 主題歌「福井はすすむよどこまでも♪」合唱・合奏会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが知っていて耳馴染みのよい「線路は続くよどこまでも」の替え歌「福井はすすむよどこまでも」を制作 <p>(4) PR動画を制作、首都圏へ発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任命式や試走イベント、合唱・合奏会の様子をPR動画として制作 														
[受益者] 県民および新幹線沿線民						[想定される受益者数] 約75万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況	2011年3月九州新幹線開業 ・実施者: JR九州 ・対象県: 福岡、佐賀、熊本、鹿児島 4県 ・参加者数: 10千人以上 ・Youtube動画 180秒バージョン(2011.2月撮影、2011.3.9放送) ・再生回数: 2011年12月時点350万回、2022年10月20日時点811万回							

県民主役のプロモーションCM制作事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	新幹線開業課	課長名	山田 輝雄	
事業主体	県											
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				96,927								
2月現計予算額の推移				96,927								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	イベント来場者数 (目標) 実績			(1,000) 1,000			(1,000)	開業4駅と駅周辺スポット 県民1,000人				
活動指標	イベント申込者数 (目標) 実績			(1,000) 1,227			(1,000)	開業4駅と駅周辺スポット 県民1,000人				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和5年度で事業完了 <事業実績> 県民が主役となって福井をプロモーションするCM撮影イベント 「福井情熱駅長」を開催 イベント来場者数 1,000人 イベント申込者数 1,227人				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	96,927	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		